

要 望 事 項	回 答
<p>【重点要望】① 新市庁舎建設工事の発注に際し、地元企業への優先発注をお願いしたい。＜新規＞</p>	<p>工事の発注については、競争性、透明性や工事の品質確保に加え、地元企業の受注機会の確保をはじめとした地域経済への波及効果も考慮しながら、総合的に検討を行っていく必要があると考えています。</p> <p>また、本市は、宇部市地元企業優先発注に係る実施方針に基づいて、市内企業の優先発注に取り組んでいます。</p> <p>さらに、宇部市特定建設工事共同企業体取扱要領を定めて、市内企業単独では実施が困難な、大規模かつ技術的難易度の高い工事についてはJV（共同企業体）による工事施工にも取り組んでおり、市内企業への発注に努めているところです。</p> <p>新庁舎建設工事については、これらの状況を踏まえ、今後、発注方法を検討していきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当 まちなか再生推進課)</p>
<p>【重点要望】② 中央町地区における再開発事業を促進させるため、小規模の土地（300㎡以上1,000㎡未満）開発に対する補助制度の創設検討をお願いしたい。＜新規＞</p>	<p>本市は、再開発事業等に関する国の補助制度にあわせ要綱を設置し、民間のまちづくりの支援準備をしているところです。</p> <p>中央町地区において、現行の国の補助制度の対象とならないような小規模での土地利用計画がありましたら、今後、補助制度を検討していきたいと考えていますので、御相談ください。</p> <p style="text-align: right;">(担当 まちなか再生推進課)</p>
<p>【重点要望】③ 10年以上当所が実施してきた「起業塾」に対し、次年度以降、山口県の補助金がなくなる見込みなので、宇部市における創業支援策として「起業塾」への補助をお願いしたい。＜新規＞</p>	<p>「起業塾」は、平成26年3月に策定し、経済産業省及び総務省から認定を受けた「創業支援事業計画」に位置付けられており、本市の創業支援の中心的な役割を担っています。これまで多くの方が受講され、卒業生である先輩起業家も市内の地域経済の担い手として多方面で活躍されています。また、「起業塾」は創業される方の登竜門であり、創業に必要な情報や知識、心構えなどを学ぶ場として、創業支援には欠かせない存在と認識しています。これらのことを踏まえ、これまでの課題や取組について再度検証し、国の創業支援事業者補助金の活用や宇部市起業サポートネットワーク事業費補助金の適用を含め、連携的に今後のあり方を検討したいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">(担当 商工振興課、企業誘致・雇用創造課、オープンイノベーション推進室)</p>

要 望 事 項	回 答
<p>【地域経済活性化の推進】① 宇部市での創業を促進するため、創業予定の段階から創業後までの一貫した支援体制を構築して頂きたい。特に商店街空き店舗での創業を促進させるために改装費の補助のみならず、一定期間、家賃が無料となる特別措置をお願いしたい。 <継続・一部変更></p>	<p>本市では、平成26年3月に「創業支援事業計画」を策定し、経済産業省及び総務省から認定を受け、創業時に国の優遇策を活用できるよう体制を整えました。これに並行し、平成26年度から、産・学・公・金の連携による「うべ起業サポートネットワーク」を発足し、地域をあげて起業者の輩出と事業継続性を高める取組を実施しています。</p> <p>また、平成27年度からは、「ふるさと起業家支援金」の助成上限額を大幅に拡充するとともに「市事業資金融資制度」の開業資金に金利優遇制度を導入し、さらに、平成29年度からは「ふるさと起業家支援金」の一般枠を拡充するなど、創業時の負担軽減により創業を支援しています。平成29年度の創業実現件数は、平成29年12月末時点で26件となっています。</p> <p>今後も、「うべ起業サポートネットワーク」を中心として、これから創業予定の方や創業後5年以内の方などを対象に、貴所をはじめ株式会社にごわい宇部や関係機関と連携し、創業予定の段階から創業後まで一貫した支援ができるよう、新たな知識を習得する場や情報交換・交流の場の創出に取り組んでいくとともに、平成30年度は、産学公連携によるオープンイノベーションシステムも活用しながら、起業・創業のスタートアップ機能の充実に向けた整備についても取組を進めていきます。</p> <p>そのほか、ものづくり分野では、「メイド・イン・ウベものづくり支援事業補助金」（平成29年度実績2件）、「新事業・新産業創出促進補助金」による製品化に向けた研究開発補助事業（同1件）、特にものづくり分野や医療福祉分野においては、事業化支援施設（MCC（7社）、貸工場（4社））を設置して創業・事業化支援を行っています。</p> <p>次に、商店街空き店舗での創業促進について、現在、中心市街地空き店舗対策事業において、中心市街地商店街へのテナント誘致に係る店舗改装費の一部を補助しています。この制度のきっかけとなった平成10年度の国庫補助のチャレンジショップ事業以降、平成18年度までは家賃補助を行っていましたが、これまで費用対効果等を踏まえた見直しを行ってきた結果、現在の制度となっています。家賃補助に関する御要望については、今後の商店街振興に向けて、商店街の組織力向上や店舗の継続発展など、事業効果の向上を検証する中で検討していきます。なお、平成30年度に向けては、従来の支援に加え、空き店舗の賃借・購入における不動産仲介手数料の一部補助を検討しており、これまで以上に空き店舗の活用促進を図ります。</p> <p style="text-align: right;">（担当 商工振興課、企業誘致・雇用創造課、オープンイノベーション推進室）</p>

要 望 事 項	回 答
<p>【地域経済活性化の推進】② 宇部市内の中小規模店の販促支援、宇部市の消費喚起策として有効な当所の「ワンコイン・パスポートd eスタンプラリー」事業に対し恒常的な事業費の補助をお願いしたい。＜継続＞</p>	<p>「ワンコイン・パスポートd eスタンプラリー」については、回を追うごとに、参加店舗が増えるなど高い評価がされているものと認識していますので、引き続き広報活動等について支援するとともに、事業費の補助については、中小企業振興策の一環として、既存制度の枠組の中で対応していきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当 商工振興課)</p>
<p>【地域経済活性化の推進】③ 宇部市の消費喚起ならびに地元購買促進に非常に有効であった「うべ元気プレミアム商品券」事業を宇部市の積極的な財政出動を以って再度実施をお願いしたい。＜継続＞</p>	<p>平成27年度に取り組みました「うべ元気プレミアム商品券」事業は、国の経済対策の一環である「地域住民生活等緊急支援のための交付金（消費喚起型）」を活用することで実施しましたので、今後の取組に当たっても、国の動向を注視しながら検討していきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当 商工振興課)</p>
<p>【地域経済活性化の推進】④ 宇部港芝中地区の一部（別紙）の用途地域が商業地域となっているが、産廃の中間処理・保蔵施設等の工業利用が出来ないため、準工業地域または工業地域への用途変更をお願いしたい。＜新規＞</p>	<p>用途地域は、住居、商業、工業など市街地の大枠としての土地利用を定めるもので、市街地の将来像に合わせるとともに、他計画との整合を図り、「都市計画審議会」に諮った上で指定しています。</p> <p>御要望のエリアの一部は、用途地域の指定に加えて、芝中臨港地区（商港区）として本市が計画決定しており、さらに、宇部港の港湾管理者である県は、「山口県臨港地区分区分内構築物規制条例」において、禁止構築物を定めています。</p> <p>このような中、県は、平成29年11月に「宇部港長期構想検討委員会」を設立し、次世代の宇部港整備の検討を開始しました。</p> <p>本市としては、用途地域の変更は港湾管理者が定める「宇部港港湾計画」との整合が必要と考えますので、県と調整を図りながら、その必要性を検討していきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">(担当 土木港湾課、都市政策推進課)</p>
<p>【地域経済活性化の推進】⑤ まちなかの賑わい創出のため、商店街が自発的に取り組む集客イベント事業へ支援をお願いしたい。＜継続＞</p>	<p>これまでも、市民の憩いの場・賑わいの場づくりのために、イベント等を実施する商店街を支援し、元気な商店街づくりを目指すことを目的とした「賑わい創出イベント事業費補助制度」を実施しており、新天町の土曜夜市、西岐波のふるさと夏まつり、銀天街のサンタクロードといった市民に親しまれる継続イベントの定着に併せて、スペインのホストタウン登録に関連する新規イベントを支援するなど、商店街の賑わい創出に努めてきました。</p> <p>平成30年度も、商店街エリアの賑わい創出と販売促進につながる積極的な取組に対して、引き続き支援を行っていきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当 商工振興課)</p>

要 望 事 項	回 答
<p>【地域経済活性化の推進】⑥ 宇部市の三大行事である新川まつり、花火大会、宇部まつりに対する財政面での更なる支援をお願いしたい。＜継続＞</p>	<p>新川まつり、花火大会、宇部まつりは歴史と伝統がある本市の3大まつりとして市民に広く定着し、中心市街地の活性化に寄与しており、また観光資源としても活用できることから、まつりの行事費や施設費等に対し、助成を行っています（平成29年度は、新川まつりに2,900千円、花火大会に2,850千円、宇部まつりに18,800千円）。今後も実行委員会の中で連携を強化するとともに、状況を見ながら、引き続き財政面での支援を行っていきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当 観光推進課)</p>
<p>【地域経済活性化の推進】⑦ コンパクトで賑わいのある街づくりを実現するためにも、市内に立地する大型店に対し、「大規模小売店舗の地域貢献に関するガイドライン」の徹底と地域貢献への積極的な取り組みを強力に要請して頂きたい。＜継続＞</p>	<p>県においては、「大規模小売店舗の立地に関するガイドライン」に基づき、対象となる既設大規模小売店舗について、指導されているところです。</p> <p>また、本市においては、県ガイドライン施行時に対象とならなかった既存店舗を対象とする市ガイドラインを策定し、地域貢献活動の実施協力を要請しています。</p> <p>さらに、新設店舗に対しては、県から出店情報の早期開示や地域貢献の取組等に関する指導が行われており、併せて、本市からも新設店舗設置者に対してガイドラインの遵守を要請しています。</p> <p>結果として、市ガイドライン施行（平成19年3月）後の宇部市における大規模小売店舗の新設届はドラッグストアを中心に20件あり、うち19件で県ガイドラインに基づく対応が実施されています。</p> <p style="text-align: right;">(担当 商工振興課)</p>
<p>【地域経済活性化の推進】⑧ 道の駅、海の見える駅、空の駅等市外から集客が出来る施設を新設して頂きたい。＜継続＞</p>	<p>平成28年4月に宇部岬漁港内にオープンした水産物直売施設「うべ新鮮市場元気一番」では、地元で捕れた新鮮な魚介類を使用した定食の提供や水産物の直売を行っており、営業日には市外からも多数の方が訪れています。</p> <p>空の駅については、空港を管理している県によると新設の予定はありませんが、本市としては、空港から近いこの水産物直売施設ができたことにより、宇部市の食の魅力を発信する新たな観光資源として、積極的に誘客を図りながら、食の魅力を市外へ発信していきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当 観光推進課)</p>

要 望 事 項	回 答
<p>【地域経済活性化の推進】⑨ 市外からの観光客等に適切な観光案内が出来るよう、観光関係事業者・団体と連携した「観光案内所」の設置をお願いしたい。＜継続＞</p>	<p>観光案内所は、市外からの観光客の誘客に必要であると考えられますが、設置場所を始めとし、費用対効果の面から決定できずにいました。しかし、平成28年度に、宇部観光コンベンション協会が、観光客等の利便性の観点から、より気軽に立ち寄れる場所に事務所を移転しましたので、協会の観光案内所としての役割について、DMO設立やインバウンド向け観光案内等も十分に考慮しながら、協会や観光関係事業者と協議していきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当 観光推進課)</p>
<p>【地域経済活性化の推進】⑩ 宇部港の一層の整備促進ならびに県営宇部ポートビル通船待合室の存続を宇部市から山口県へお願いして頂きたい。＜継続・一部変更＞</p>	<p>宇部港は平成23年5月に「国際バルク戦略港湾」（石炭）に指定され、大型船舶の活用促進による輸送の効率化を図るため、国が直轄事業により本港航路・泊地の増深浚渫を進めています。</p> <p>本市は、国に対して、より一層の整備促進を図るよう、県と連携し積極的に要望を行うとともに、本市や国、県、関連企業・団体で構成する「宇部港活性化推進協議会」を設立し、宇部港の整備促進に取り組んでいるところです。</p> <p>また、県が宇部港の長期構想を検討するために、平成29年11月に設立した「宇部港長期構想検討委員会」において、本市のさらなる産業力の強化や雇用の拡大を目指し、「宇部港港湾計画」の改定に向け、県へ強く要望しているところです。</p> <p>次に、現在の県営宇部ポートビルは、昭和50年に建築されたものですが、かつての旅客施設としての1階の待合所には、宇部港湾管理事務所が事務所機能を平成30年2月に移転する予定と聞いています。</p> <p>このような状況ですが、本市としては、県に対して、待合室の存続に関する御要望をお伝えします。</p> <p style="text-align: right;">(担当 土木港湾課)</p>
<p>【地域経済活性化の推進】⑪ 山口宇部空港の利用促進のため、空港からの市街地までの交通2次アクセスの強化をお願いしたい。＜継続＞</p>	<p>平成28年度から韓国ソウルにある仁川空港との間で冬季ダイヤにおける国際定期便就航が実現し、平成29年度においても運航されました。さらに、平成28年度には初の台湾連続チャーター便が運行され、同年度の台湾チャーター便は過去最大の回数となり、平成29年度も昨年以上のチャーター便の運航が見込まれます。</p> <p>このような状況の中、平成29年10月30日に、外国人観光客を対象とした観光タクシーサービスである、「宇部グローバル観光タクシー」の運行を実験的に開始しました。</p> <p>今後は、実証実験の結果等を踏まえ、県や公共交通機関と連携しながら、空港から市街地までの交通2次アクセスの強化に向けて、乗り継ぎの利便性の確保等に取り組んでいきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当 観光推進課)</p>

要 望 事 項	回 答
<p>【地域経済活性化の推進】⑫ 公共工事における発注者責務の明確化、発注関係事務の適切な実施、入札の過度な競争性の改善をお願いしたい。＜継続＞</p>	<p>国が定めた「発注関係事務の運用に関する指針」を参考に、発注関係事務の適切な運用に努めます。また、これまでの入札契約制度の改正等を踏まえ、市が取り組むべき内容と公契約の相手方に求める内容の基本的なあり方を明確にした「宇部市建設工事に関する公契約指針」を策定し、平成30年4月1日から施行します。</p> <p style="text-align: right;">(担当 入札監理課)</p>
<p>【地域経済活性化の推進】⑬ 公共工事の入札手続きについて、電子入札への移行を早期をお願いしたい。＜継続＞</p>	<p>電子入札については、県・県内市町との共同運用が困難なことや、本市単独で導入した場合でも費用対効果が期待できないことなどから、現在のところ移行の予定はありませんが、電子入札に移行する自治体が全国的に増えていることから、引き続き調査・検討を進めていきたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">(担当 入札監理課)</p>
<p>【地域経済活性化の推進】⑭ 公共工事の積算について、請け負けを防ぐためにも見積単価等の開示ならびに数量変更に伴う適切な工事費の変更処理をお願いしたい。＜継続＞</p>	<p>公共工事の執行については、事前に現場の調査・確認を行い、国や県が示した標準的な基準に基づいて設計・積算を行っています。</p> <p>入札に伴う予定価格については、平成28年4月から全ての工事について事後公表としたところです。これに伴い、見積単価等（建築系工事については、中科目別内訳において、見積徴取により決定した価格が当該中科目の過半を占める中科目の金額）については、設計図書の配布に併せて事前の開示しています。</p> <p>また、設計内容や工期の変更については、工事請負契約書に基づき、受注者と書面により確認しながら、適切な工事費を算定したうえで変更契約を行っています。</p> <p>今後も引き続き、受注者から疑義がないよう適正に対応していきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当 土木港湾課)</p>

要 望 事 項	回 答
<p>【地域経済活性化の推進】⑮ 中小事業者の廃業・休業は資金的な問題だけでなく、後継者不足等人的な問題も大きな比重を占めていることから、事業承継対策事業を積極的に進めて頂きたい。＜継続＞</p>	<p>中小事業者からの相談受付体制の1つとして、平成28年10月から、やまぐち産業振興財団との連携により、「よろず支援拠点による無料出張相談会」を月1回市役所内で実施しており、事業承継を含め様々な経営相談に応じています。</p> <p>平成29年12月末現在においては、延べ16件の相談があり、事業承継に関する相談受付はありませんでしたが、今後、相談案件があった場合は、よろず支援拠点から山口県事業引継ぎ支援センター等の専門機関へ引き継がれ、個別支援が行われることとなります。</p> <p>また、宇部市が運営する「宇部市中小企業振興審議会」においては、中小機構の事業承継コーディネーターの参画を得て、事業承継問題に関する情報共有や早期対策の重要性といった意識啓発等を行っています。</p> <p>引き続き、国・県をはじめ関係機関と連携しながら、事業承継対策に取り組むとともに、平成30年度は、産学公連携によるオープンイノベーションシステムの活用を通じた、幅広い経営支援に取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">(担当 商工振興課、オープンイノベーション推進室)</p>
<p>【地域経済活性化の推進】⑯ 宇部市制度融資の利用促進のため、申込要件の緩和ならびに申込から融資実行までの時間を短縮して頂きたい。＜新規＞</p>	<p>宇部市事業資金融資制度については、これまで、取扱金融機関の追加をはじめ、融資審査会の回数増加、融資限度額の拡大、償還期間の延長、開業資金の利率優遇及び要件緩和など、経済情勢や企業ニーズに応じて、制度改正を行ってきました。</p> <p>平成30年度においては、「宇部市中小企業振興審議会」からの提言を受け、月2回の申込み締切を撤廃することとしており、このことにより、受付から山口県信用保証協会での保証書発行に係る副申までの期間が大幅に短縮でき、中小事業者の資金需要に迅速に対応できるものと考えています。</p> <p style="text-align: right;">(担当 商工振興課)</p>
<p>【ときわ公園の活性化】⑰ ときわ動物園のグランドオープンや植物園のリニューアルオープン、また白鳥の復活等により今後利用客増加が見込まれることから、駐車場と周遊園路のトイレ整備をお願いしたい。＜継続＞</p>	<p>駐車場については、平成29年3月に南駐車場約180台を常設駐車場として整備し、同年8月には西駐車場を約40台拡張し対応しているところです。</p> <p>また、トイレについては、東駐車場トイレのバリアフリー化、ときわスポーツ広場への多目的トイレの新設工事を実施しており、平成30年3月に完成する予定です。今後も、引き続き利用しやすいトイレ整備を進めていきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当 公園緑地課)</p>

要 望 事 項	回 答
<p>【その他】① 「彫刻のまち」のイメージ定着のため、ときわ公園・山口宇部空港・公共施設など宇部市全体のコンセプトを明確にし、統一感のあるまちづくりをお願いしたい。＜継続＞</p>	<p>「彫刻のあるまち」のイメージを全国的に定着させるため、平成29年に九州国立博物館において、UBEビエンナーレPR展を開催し、多くの来場者を迎えることができました。また、同年11月にはスペインカステジョン市で開催された国際アートイベント「マルテ」において同展を開催し、国際的なPR活動を行いました。</p> <p>市内の彫刻作品については、ときわ公園では、常盤湖を中心とした緑豊かな景観、四季折々の花木などの自然と調和するように設置することとしています。</p> <p>また、山口県の空の玄関口である山口宇部空港では、「彫刻のあるまち」宇部をアピールするため、特徴のある彫刻を12点設置しています。</p> <p>公共施設においても、それぞれの施設の特性と立地環境を踏まえた上で設置しており、本庁舎建て替えに当たっては、新たな彫刻設置、既存彫刻の再配置を検討しているところです。</p> <p>これからも、「宇部らしい環境を交流につなげる都市づくり」のため、緑と花と彫刻が彩る景観をつくることを一つの方針として、彫刻の設置も念頭に入れた統一感のあるまちづくりに努めていきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当 ときわミュージアム管理課)</p>